

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 53 号

2015 (平成27) 年7月18日 (土)

孔子先生をお手本に

北海道教育大学付属小学校2年 市澤 一輝

ぼくが論語塾にかよいだめたのは、孔子先生のお話をたくさん聞きたいとおもったからです。

孔子先生は、ためになることをたくさんおっしゃっているので大へんよいお手本だとぼくはおもっています。孔子先生のお弟子さんのように、ぼくもみんなのお手本になればいいなあとおもって習い始めました。

お手本になるには、もっと論語が好きになってたくさん論語のべんきょうをがんばりたいです。もしも、大へんよいお手本になったら海外に行って、ぼくがお手本として知られるようになったらうれしいです。そして、世界一勇気があって、やさしくて人どうしで協力しあう人間になりたいです。できればスポーツ万能で女の子にモテるようになれば最高です。

もしなれなくても、いっしょうけんめいがんばったなら、それでいいと思います。そのためにも論語は大切だと思います。新田先生はたいへんわかりやすくおしえてくださるので、ぼくも絶対に孔子先生のようなお手本になれると信じてべんきょうします。

※ なお、来月(8月)は貝塚 大志君にお願いします。

◆ 8月の論語塾は、8月22日(土)の第四土曜日になります。間違いのないようにお願いします。

◆夏休みを有意義に！

来週から待ちに待った夏休みに入りますね。天気の良い日は、外でおもいっつき遊んでください。本を読むことも心がけてくださいね。礼(マナー)・仁(思いやり)を忘れないでくださいよ。受験生は心身のバランスを大切に！そして、希薄(乏しいこと)になりつつある親子の対話が、一層深まることを期待しています。

塾生紹介

大岩 響子さん(氏名) 池ヶ谷 昌之さん

主婦(お仕事) えんゆう相続(株)・代表取締役

数学(好きな教科) 国語

陶芸、絵画など創作活動(趣味) カラオケ

主人の母、両親(尊敬する人) 孔子

(その他)

夫婦で参加し可愛い先輩塾生に刺激を受けながら、学ぶ喜びを実感しているそうです。二人の子供は大学生で子育てもほぼ終わり、盲導犬のパピーを預かり育てているとのこと。犬との触れ合いは優しく素直な気持ちにしてくれ、生きることはシンプルなんだよ、と教えてくれているとのこと。現在、趣味の絵を習っているそうです。

論語の学而第一の第一章が大好きとのこと。この章句は、目標を持って学び続けていると自然と仲間が出来て楽しい人生が送れるという教えです。苦しい時はいつもこの章句を読んで苦勞を乗り越えてきたそうです。池ヶ谷さんは、若い時からずっと毎日、論語の素読を欠かしたことがないと言います。頭が下がります。

(先生からのコメント)

今は亡きお父様は医者で、その影響もあり、女の子供さんは医学生。物事は前向きにとらえるように心掛け、温厚な性格とのこと。特技は?と尋ねると、「家庭料理」でしょうか、サラッとかわすところが心憎い。また、多忙な社長であるご主人を、さりげなく支えているところが何とも微笑ましい限りです。

日常生活を送るうえで、生活のリズム感を持って過ごすことが何より大切だと話してくれました。長所を聞かせて下さい、との質問に「人の言うことをよく聞いて、それをプラスに変えていくところでしょうかね」とのこと。真面目で誠実な人間性を読み取ることが出来、さすが社長だと感心させられました。

※ 8月は光田 虎ノ介君と永井 美すゞさんを紹介します。